



特別企画

# ろうつわ The Dramatic Vessel

## ドラマチック展

極めた”うつつわ“の美

世界の陶芸家たちが



### 2017.3.11(土)~6.11(日)

The Beauty of the Vessel,  
Perfected by the World's Ceramic Artists

開館時間:午前9時30分~午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日:毎週月曜日(3/20開館し、3/21振替休館)  
入館料:一般700円(560円)、高大生500円(400円)、中学生以下無料 ( )内は20人以上の団体料金  
主催:公益財団法人 滋賀県陶芸の森、京都新聞  
後援:ブリティッシュ・カウンシル、駐大阪・神戸米国総領事館、滋賀県教育委員会、甲賀市

 滋賀県立 **陶芸の森** 陶芸館

The Museum of Contemporary Ceramic Art, the Shigaraki Ceramic Cultural Park  
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勲旨2188-7  
TEL.0748-83-0909 FAX.0748-83-1193 URL <http://www.sccp.jp>

左上から右に:アキノ・タカモリ「寄る人々のティーポット」1990、小川待子「2015-N-6」2015 柳澤コレクション、ルドルフ・スタフフェル「Light Gatherer」1986、ハブス・ハーネン「壺」1987、ポール・マチュー「一瞬」1991

# The Beauty of the Vessel, Perfected by the World's Ceramic Artists

## 世界の陶芸家たちが極めた“うつわ”の美

やきものの“うつわ”は、世界各地でつくられ暮らしの中で用いられています。“うつわ”とは、まさにやきもののシンボルであるといえるでしょう。また、現代の陶芸において“うつわ”は、用途を離れやきものの美を表現するテーマのひとつになっています。

イギリスでは用と美の融合を探究したバーナード・リーチら先駆けとし、ルーシー・リーに続く作家たちは、使う器から、魅せる“うつわ”へとその美の領域を広げていきました。戦後の国々がたどったそれぞれの道筋、そして作り手たちの個性。これが“うつわ”の中に、さまざまな国々の特徴とともに映し出されています。

本展では、世界の陶芸家たちが“うつわ”の中にドラマチックに映し出す、美の競演をご覧ください。

Ceramic vessels are created and used in daily life all over the world. The vessel is truly a symbol of ceramics. In contemporary ceramic art, the vessel has also moved beyond a purely functional role to become an expressive theme for ceramic beauty.

In England Bernard Leach pioneered the pursuit of a fusion of function and beauty. Lucie Rie and others followed, broadening the role of the vessel from the realm of simple function to one of fascination and beauty. In the postwar era, each country took its own path; along with the individuality of the artists, the character of each culture is reflected in the vessels created.

In this exhibition, we hope you will be able to experience the dramatic beauty expressed in vessels created by the world's ceramic artists.



### 関連行事等

#### 1 ギャラリートーク

申込不要、入館券必要  
3月26日(日)、4月30日(日)、5月28日(日) \* 各日とも13時30分から

#### 2 つちっこ“うつわ”講座「オリジナル仕切り皿づくり」

朝食やランチが楽しくなるお皿をつくってみませんか。  
大人も子どもも参加OK。  
要事前申込 3月25日(土) 13時~16時 講師: 榎本 佳子

#### 3 ギャラリー企画

平成28年度ゲスト・アーティスト3人展 3月11日(土)~4月23日(日)  
平成28年度ゲスト・アーティスト 武村和紀展 4月29日(土)~6月11日(日)

#### 4 信楽作家市／陶芸の森太陽の広場

5月2日(火)~5日(金・祝)

### 〈シーン1 うつわから広がる美／イギリス〉

#### Scene 1 From Vessels to Beauty / England

バーナード・リーチ、ルーシー・リー、ハンス・コパー、アリソン・ブリン、エリザベス・フリッチェ、キャロル・マックニコル、グレイソン・ベリー、ケン・イーストマン、アンガス・サティ、ゴードン・ボルドウィン、メアリー・ロジャース、マーティン・スミス、ユーエン・ヘンダーソン、リチャード・スリー、ローソン・オイクン、サラ・スキャンプトン、カレン・デンシヤム、ジェニファー・リー、ドロシー・フェイブルマン

### 〈シーン2 企ての美／アメリカ〉

#### Scene 2 The Beauty of Plans / United States

ピーター・ヴォーコス、ウォーレン・マッケンジー、マリリン・レヴィン、ケネス・ブライス、エイドリアン・サククス、ラルフ・バセラ、ロン・ネイグル、ルディ・オーティオ、ルドルフ・スタッフエル、ベティ・ウッドマン、アダム・シルヴァーマン

### 〈シーン3 日常×アート ティーポット／アメリカ、カナダ、イギリス〉

#### Scene 3 Utility × Art - Teapots / United States, Canada, England

フィリップ・コーネリアス、アン・クラウド、ピートリス・ウッド、アキオ・タカモリ、リチャード・ノトキン、ハリス・デラー、ジェリー・ベルタ、ジョン・デ・ファジオ、リディア・ブジオ、クリス・ガスティン、シンディー・コロジエスキー、ジェームス・ロートン、アンソニー・ベネット、スティーブン・モントゴメリー、エイミー・サブリーナ、カート・ワイザー、レオポルド・フォーレム、ポール・マチュー

### 〈シーン4 静物画家モランディへのオマージュ／オーストラリア〉

#### Scene 4 Homage to Still Life Artist Morandi / Australia

グリン・ハンセン・ビゴット

### 〈シーン5 北欧・陶芸とデザイン／デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド〉

#### Scene 5 Scandinavia - Ceramics and Design / Denmark, Finland, Sweden, Norway

ベンチ・ハンセン、ボディル・マンツ、モーテン・ロブナー・エスパーセン、インゴ・ロッケア(デンマーク)、アルネ・オーセ(ノルウェー)、スティグ・リンドベリ(スウェーデン)、ビルガー・カイピアイネン、カティ・トットオミネン=ニイートゥラ、ペッカ・パイカルリ、ヘイニ・リータフタ(フィンランド)

### 〈シーン6 土の美・釉薬の美／スペイン、スイス〉

#### Scene 6 The Beauty of Clay, the Beauty of Glaze / Spain, Switzerland

クラウディア・カサノバス(スペイン)、エドゥアル・シャバラ(スイス)

### 〈シーン7 “うつわ”イマジネーション／オランダ、ドイツ、スイス、チェコ、エストニア、オーストリア〉

#### Scene 7 Vessel Imagination /

#### Germany, Switzerland, Holland, Czech Republic, Estonia, Austria

バプス・ハーネン、イレネ・フォンク、バーバラ・ナニング(オランダ)、ウルスラ・シャイト、アストリット・ゲルハルト、ヨッヘン・プラント(ドイツ)、フィリップ・バルド(スイス)、ウラディミール・グロフ+西田泰代(チェコ)、イングリッド・アリック(エストニア)、ローズマリー・ベネディクト(オーストリア)

### 〈シーン8 アイデンティティを映し出す“うつわ”／台湾、ガーナ〉

#### Scene 8 Vessels Projecting Identity / Taiwan, Ghana

張 清淵(台湾)、ジェームス・クワメ・アモア(ガーナ)

### 〈シーン9 “うつわ”静寂の美、技の妙／日本〉

#### Scene 9 The Quiet Beauty of Vessels, the Magic of Technique / Japan

富本憲吉、濱田庄司、徳田八十吉、小川待子、八木明、木村芳郎、長江重和、山田晶、近藤高弘、桑田卓郎、新里明士、福本双紅、神山賢一

### 【公共交通機関】

- JR草津駅より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、貴生川駅より信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、信楽駅より徒歩20分
- 信楽高原鉄道・信楽駅より甲賀市コミュニティバス(信楽高原バス「陶芸の森(陶芸館前)」)下車

### 【自動車】

- 新名神高速道路 信楽I.C.より約8分

### 【駐車場】

- 普通車約250台 大型バス約10台

### 滋賀県立 陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勲旨2188-7  
TEL.0748-83-0909 FAX.0748-83-1193  
URL <http://www.sccp.jp/>

Place: The Museum of Contemporary Ceramic Art, the Shigaraki Ceramic Cultural Park  
Address: 2188-7, Chokushi Shigaraki-cho, Koka-City, Shiga-pref. Japan

